

# petrocutter ペトロカッター 無加圧式ガソリン酸素溶断機

## (着火と炎の調節)

- 1、鉄の厚みに合わせて、適切な溶断トーチと溶断火口を選択し、**2本のスパナ**でしっかりと強めに取り付ける。

酸素調整器の酸素圧力を適正にセットする。  
※ 適正な酸素圧は、節約になります (裏面参照)



- 2、ガソリントankの給油口をゆっくりと半回転戻し開き、タンク内圧力を開放する。

無加圧式は、ガソリンをトーチヘッドまで、酸素で引っ張る為、空気の流れを作る必要があります。  
※ **タンクは倒れないように**して下さい



- 3、ガソリンホースと酸素ホースを それぞれタンクとトーチにつなげる  
酸素逆流防止弁は、酸素ホースの取付けコネクタに内蔵されています。

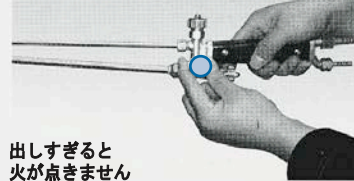
- 4、作業時は、遮光メガネ、皮手袋、長袖シャツ/ズボンを着用してください

- 5、タンクのガソリンバルブを全開する



- 6、トーチの**混合酸素バルブ**を180°以上回し開く

シューッと小さな音

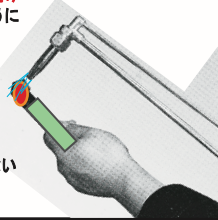


出しすぎると火が点きません

- 7、切断口に着火用具(ライター-etc.)の炎を近づける

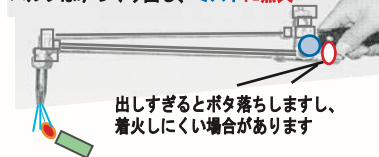
火口の先端は、**下方**に向けミストがかからないように注意する

ライター炎は混合酸素の流れを避けて近づける  
この時、炎が手に触れないように注意する



- 8、同時に、**ガソリンバルブ**を少しづつ回して、点火します

火口部分でガス化する為、バルブはゆっくり回し、**ミストに点火**



出しすぎるとポタ落ちしますし、着火しにくい場合があります  
バルブが硬い時、ガソリンが垂れない程度にバルブを緩めておくとスムーズに回せます

※ **初めてご使用の際は**、ホースやタンク内のチリやゴミにより、赤や黄色の火が續く場合やガソリンホース内の空気泡により、ポツポツ消える事がありますが、次第に無くなります。下記9にて早く安定がします

- 9、**着火したら、ガソリンバルブで、調整**します。混合酸素は180度以上回している状態

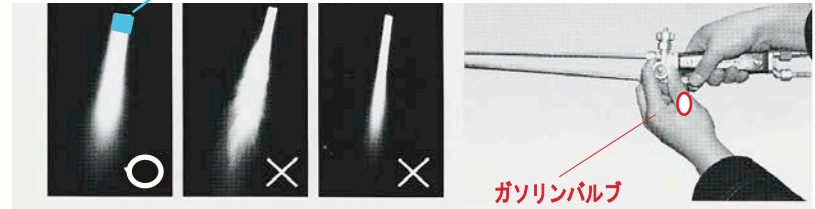
- ① 着火時は、火口内でガス化する為、**炎は安定していません**



- ② 火口の先端を**廃鉄に斜めに**当てて、火口を温め、早く調整炎を作る。



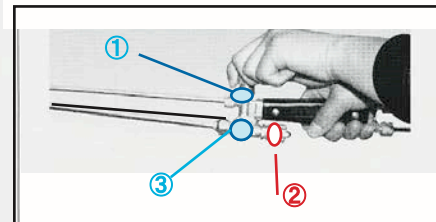
- ③ ガソリンバルブは、**黄色いパチパチが消えるか消えない程度**に調整します。音は大きく、その炎はアセチレンやプロパンの炎とは違います  
火口先端に**青白い炎心**が3~5ミリ以上出来き、**黄色の炎が無くなりましたら調整完了**です。



※ 調整しても息継ぎをするように**炎が消える時は**、全ての接続部分を更に閉めてください。  
※ 火口先端から液体がたれた時は、全てのバルブを閉めて、その液体が揮発するかどうかを調べてください。  
オイルや水など混ざり物がある場合があります

切断のコツは、裏面を参照して下さい

(火炎を閉じる) ①**カット酸素** ⇒ ②**ガソリンバルブ** ⇒ ③**混合酸素バルブ**



④**タンクのガソリンバルブと給油口**を閉める



## (保管上の注意点)

全てのバルブを締め、確認した後ガソリントank・切断トーチ・ホースを**通風のある密閉されない風雨にさらされない場所**に保管して下さい。残ガソリンがある場合は、時々給油口をゆっくり開けて内圧を抜く作業をして下さい。

※ 取扱説明書を熟読した後に、現場用として参考にして下さい

※ スパーク着火は、混合酸素→ガソリン→ミストになった時、カチャッとスパークで着火する